

・登米高等学校 志教育実践事例

活動名

登米高等学校「職業人インタビュー」

登米高校：1学年

普通科（101名）

か
か
わ
る

も
と
め
る

【活動のねらい】

- ・（インターンシップの中止に伴い）事業所での体験はできなかったが、社会人として働いている人にインタビューを行うことで働くことの一端を知り、自分のキャリア形成（勤労観、職業観の育成）に役立てる。

[志教育の視点]

- ・地域の職業を知る。（かかわる）
- ・実際に働いている人へのインタビューによって大切にしている価値観等を知ること、自分のキャリアについて考えを深める。（もとめる）

〈活動の流れ〉

- ・総合的な探究の時間で事前学習及び事後学習を実施した。（週1時間）
- ・地域の企業、自治体など20の事業所に協力いただき、21名の講師のみなさんにご協力いただいた。事業所の選定についてはインターンシップ実施企業を中心に依頼した。あらかじめ生徒が考えた質問を送付し、インタビュー当日に回答いただくこととした。
- ・生徒は4～6名程度のグループに分かれて学習した。事前学習で事業所の概要を調べ、質問事項を考えた。また、事後学習で報告書を作成し、わかったことをまとめた。社会人になってからも学び続けることの大切さなど初めて知ったことも多く、生徒の学びにつながった。

ポイント

アンケートにより
関心のある事業所
が少なくとも1つ
は入るように設定

当日は連携した法人
の協力でオンライン
によるインタビュー
を実施



夢や志をはぐくむ手立て

- ・地域の産業や仕事を知る機会であることにも着目させる。
- ・インタビューや質問づくりを通して仕事をしていくうえで大切にしたいことや価値観などを考えさせるきっかけとする。

・登米高等学校 志教育実践事例

活動名

登米高等学校「地域活性化プロジェクト」

登米高校：2 学年

普通科（109名）

【活動のねらい】

- ・地域の課題の解決に向けた提案を行う学習を通して地域のことをより深く知り、地域のためにどのように行動していくと良いのか考える機会とする。
- ・課題解決学習を通して課題発見力や情報収集力を高める。
- ・課題解決の方策についてプレゼンテーションを行うことで思考力・判断力・表現力を高める。
- ・活動を通して地域の一員として地域に貢献使用とする志を涵養する。

[志教育の視点]

- ・課題解決学習を通して地域社会の一員としての自覚を持ち、地域に貢献する態度の育成を図る。（かかわる、はたす）
- ・地域の抱える課題について考えることで地域を多様な側面にとらえ、深く知る。（かかわる）

〈活動の流れ〉

- ・総合的な探究の時間で実施した。（週1時間）
- ・コロナ禍の状況を踏まえて、グループでの取り組みを基本とし、感染症対策に留意して実施
- ・地域の抱える課題についてグループで情報収集し、その解決策を提案する。
- ・課題解決の方策についてプレゼンテーションを行って表現力を高めるとともに、他のグループとの質疑応答により幅広い視点からテーマを見つめ考える力を深める
- ・各教科・科目、特別活動との連携を図り、学習した内容が相互に生かせるようにする。
- ・地域の有識者や行政職員から助言いただき、活動に生かす。

ポイント

学習の趣旨を生徒に理解させ主体的な学習に

ポイント

探究のプロセス（課題設定、情報収集、整理分析、まとめ・表現）を意識



夢や志をはぐくむ手立て

- ・地域や他者とのかかわりを意識させる。
- ・地元の課題に目を向けることで主体的な取組にするとともに、地域の一員としての役割を果たすことを意識させる。

か
か
わ
る

も
と
め
る

は
た
す